

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	------------------------------

基本方針 I 子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

1 家庭における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

1	本の読み聞かせや家読の推奨	乳幼児の健康相談や、幼稚園、保育所、こども園、学校、公民館、図書館等において、保護者の方に、子どもへの本の読み聞かせや家族で読書を楽しむ家読(うちどく)について、啓発活動や年齢に適した本の紹介に努めます。	こども部	幼稚園	A	・幼児に読み聞かせをした絵本を保護者に紹介した。紹介方法としては、写真掲示や実際の絵本を展示する等を実施した。また、保護者へ年齢に適した絵本の紹介としてパンフレット配布及び千葉県教育委員会が作成した子どもの読書活動啓発リーフレット「図書館司書が選んだ『子どもに読んでほしい本100選』」の掲示を実施した。	・保護者へ幼児期の読み聞かせの良さを推奨していくために家庭通信の掲載方法を工夫していく。 ・視聴覚機器を活用した絵本の読み聞かせを実施し、感染症対策をしながら絵本親しむ活動を進めていく。 ・段階的に絵本の貸し出しを実施し、家庭での読み聞かせのきっかけづくりをしていく。
			こども部	保育所	A	・クラスだよりやクラスノート(幼児組は日々の様子、乳児組は月や行事ごと)などとおして、子どもの好きな本や季節を感じられる絵本、年齢ごとに読み聞かせたい本などを紹介していった。	・引き続き、クラスだよりやクラスノートなどとおして、絵本の紹介をし、保護者の絵本に対する意識を高めていかれるように努めていく。 ・保育参観や懇談会の場で、子どもが親しんでいる絵本の紹介をしたり、手にとれるように掲示したりして、家読を楽しめるようにしていく。
			こども部	こども園	A	・保育の中で読み聞かせをした本や、子どもが興味をもっている本を保護者に紹介し、家庭において読書に親しむきっかけ作りを行った。	・地域の図書館のお話会参加の様子を保護者に伝えるようにし、家庭でも絵本に親しめるようにする。 ・より多くの絵本に親しめるように、園内での読み聞かせの工夫をし、絵本に触れる機会を増やしていく。
			こども部	きらっ子ルーム	A	施設内に絵本コーナーを設置し、適宜絵本の紹介を行った。施設開所日数:284日実施	同様に実施する。
			こども部	こどもセンター	A	施設内に絵本コーナーを設置し、適宜絵本の紹介を行った。施設開所日数:293日実施	同様に実施する。
			学校教育部	小学校	B	本の紹介などは進めているが、保護者への周知は十分ではない。	学校だよりや図書だよりを活用するなどして、保護者への啓発を進めていく。
			学校教育部	中学校	B	本の紹介などは進めているが、保護者への周知は十分ではない。	学校だよりや図書だよりを活用するなどして、保護者への啓発を進めていく。
			学校教育部	高校	B	学校図書館 館報『書架』には、図書館の状況や新着図書や頻度の高い貸出本がどんなものか、情報が載っている。生徒が家庭に持って帰ることにより、家庭内での話題となるようベストセラーなどにも触れるよう努めている。また、『とよだより』でも同様である。	学校図書館の新着本、館内での利用頻度の多い本などの情報はクラス掲示ではなく、頻度を高めて個々に配布するよう計画している。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	------------------------------

基本方針 I 子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

1 家庭における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

1	本の読み聞かせや家読の推奨	乳幼児の健康相談や、幼稚園、保育所、こども園、学校、公民館、図書館等において、保護者の方に、子どもへの本の読み聞かせや家族で読書を楽しむ家読(うちどく)について、啓発活動や年齢に適した本の紹介に努めます。	生涯学習部	公民館	A	親と子のふれあい講座…(中央)1回親子10組 (菊田)1回親子10組 (谷津)2回親子17組 育児講座…(袖ヶ浦)1回6名 (実花)1回6名 (新習志野)1回8名 幼児家庭教育学級…(菊田)1回親子7組 (実花)1回5名 (谷津)1回親子10組 (新習志野)1回13名 (新習志野)子ども講座1回8名 夏休みこどもおはなし会と映画会(5歳児～小学1年生)28名	引き続き、育児講座、親と子のふれあい講座、幼児家庭教育学級などを実施し、子どもへの本の読み聞かせや家族で読書を楽しむ家読(うちどく)について、啓発する。
			生涯学習部	図書館	A	各図書館でおすすめ絵本のリスト(0～2歳、3歳向け、4歳以上)を利用者が自由に持ち帰れるようにし、年齢に適した本の紹介に努めている。 家読啓発活動のためのロゴマークを作成し、チラシ等に活用している。	継続
2	ブックスタート事業の実施	赤ちゃんと保護者のふれあいに絵本を役立ててもらえるよう、4か月児健康相談に、絵本と本を持ち運べるコットンバックを配付します。	こども部	子育て支援課	B	4か月児健康相談の場及び窓口(※)において、894セット配付した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4か月児健康相談を中止していた期間については、申し出により窓口にて配付 ・予算額 903,000円 執行率89.7%	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施する。
3	子育てハンドブックへの図書館利用案内の掲載	子育て家庭の方へ配布している「ならしの子育てハンドブック」に市立図書館の利用案内を掲載します。	こども部	子育て支援課	A	市立図書館の利用案内を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を5,000部発行し、配布した。 ・予算額 0円	内容を更新し、継続して発行する。
4	誕生記念図書館カードの配布	出生届出時に誕生記念用としてデザインした図書館カードとブックリスト「絵本であかちゃんと楽しいひとときを」を配布します。	生涯学習部	図書館	A	誕生記念図書館カードを1,120人に配付した(出生者数1,220人)。	継続
5	「えほんのじかん」の実施	4歳以下の乳幼児と保護者が一緒に参加できるおはなし会「えほんのじかん」の開催増に努め、親子で本を楽しむとともに子どもへの読み聞かせの理解促進を図ります。	生涯学習部	図書館	B	各図書館(3館)で計31回開催し、236人の参加があった。 (中央図書館は新型コロナ感染症拡大防止のため代替の部屋が確保できず中止)	継続
6	絵本の選び方講座の開催	子どもに読み聞かせをする時に、どんな絵本を選んだらよいかわからないという方を対象に、図書館職員による読み聞かせに適した本の選び方講座を開催します。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館で図書館職員による「家庭で楽しむ絵本の選び方講座」を開催した。(参加人数:乳児向け絵本の紹介5人、幼児向け絵本の紹介1人)	継続
7	子どもの読書に関する相談サービス	子どもに読ませたい本をさがすお手伝いや、すすめる本の紹介など、図書館職員が子どもの読書に関する相談にお応えします。2020年7月開館予定の新しい図書館では子どもの読書に関する相談の専用カウンターを設けます。	生涯学習部	図書館	A	各図書館のカウンターで子どもの読書に関する相談に応じている。 中央図書館ではこどもとティーンズのフロアに専用の相談カウンターを設けている。	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	------------------------------

基本方針 I 子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

2 地域における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

8	絵本コーナーの設置	絵本のコーナーを設置します。	こども部	こどもセンター	A	施設内に絵本コーナーを設置し、適宜絵本の紹介を行った。 施設開所日数:293日実施	同様に実施する。
			こども部	きらっ子ルーム	A	施設内に絵本コーナーを設置し、適宜絵本の紹介を行った。 施設開所日数:284日実施	同様に実施する。
9	おはなし会の実施	職員による読み聞かせやボランティア団体によるおはなし会を実施します。	こども部	こどもセンター	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせ及びおはなし会を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上で、実施可能かどうかを検討する。
			こども部	きらっ子ルーム	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせ及びおはなし会を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上で、実施可能かどうかを検討する。
10	放課後児童会における読み聞かせの実施	子どもが放課後を過ごす児童会で、読み聞かせを実施します。	こども部	児童育成課	B	・読み聞かせを実施している児童会は19児童会あり、実施回数は児童会毎に異なるが月に4回程度実施している。 ・毎日読み聞かせを実施している児童会は2児童会である。長期休暇中のみ読み聞かせを実施している児童会は14児童会である。(毎日読み聞かせ実施児童会は14児童会に含めず)	読み聞かせにおける時間の確保を課題として令和4年度以降も実施する。
11	公民館における図書の貸出し	各公民館の図書室や図書コーナーに子どもの本を揃え、貸出しを行います。	生涯学習部	公民館	A	(菊田)図書コーナー有 貸出冊数 64冊 (新習志野)幼児室に児童用の寄贈本を設置。 (実花)図書コーナー有 貸出冊数 不明 (袖ヶ浦)図書コーナー有 貸出冊数 1175冊 (谷津)図書コーナー有 貸出冊数 不明	引き続き、図書コーナーに子どもの本を揃え、貸し出しを行い、新しい絵本の購入に努める。 また、本の貸し出しを増やすためのPR。貸し出し業務の整備(貸し出し数の把握など)を行う。
12	おはなし会の実施	地域ボランティアとの連携により、「おはなし会」を実施します。	生涯学習部	公民館	A	育児講座…(袖ヶ浦)1回6名 (菊田)きくたこどもフェスタでおはなし会を実施 25名 (谷津)ちびっこクリスマス会で「おはなしポケット」によるおはなし会実施 184名 (新習志野公民館)新習志野公民館職員によるおはなし会 月3回	幼児室に児童用の寄贈本を設置し、引き続き、公民館でのおはなし会を実施する。
13	地域文庫等の活動場所の提供	地域で文庫活動等の子どもの読書活動をしている団体に、活動場所を提供し、活動を支援します。	生涯学習部	公民館	A	(菊田)読み聞かせ団体 1団体 1回/月 (新習志野)2月に1回1団体、年数回1団体 (袖ヶ浦)1団体 月2回程度活用 (谷津)サークル「おはなしポケット」月3回活動場所の提供、内1回は地域の子どもたち対象のおはなし会を開催 (実花)1団体 月2回程度	引き続き、地域文庫等との連携を図り、読み聞かせ団体に活動場所を提供し、支援する。
14	地域文庫等への団体貸出しの実施	地域で文庫活動等の子どもの読書活動をしている団体に、本をまとめて長期期間貸し出す団体貸出しを行い、活動を支援します。	生涯学習部	図書館	A	読書活動をしている団体に団体貸出しを行った。	継続 読書活動をしている団体への貸出し数を把握する必要がある。
15	「おはなし会のすすめ方講座」の開催	これから地域や学校等でおはなし会を始めようとしている方などを対象にしたおはなし会の仕方についての講座を開催します。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館で市内で読み聞かせを行っている方を講師にした読み聞かせ講座を開催した。(参加人数:9人)	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	------------------------------

基本方針 I 子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

3 学校・園等における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

16	乳幼児の読書の習慣化への取組	子どもを本に親しませ、本を読む習慣を身に付けさせるために、地域ボランティアと連携しながら発達や興味、季節等に応じた絵本や紙芝居などを用いた読み聞かせやおはなし会を行います。	こども部	幼稚園	B	・新型コロナウイルス感染症対策を講じて図書館司書による読み聞かせは実施できなかったが、年齢や実態、季節に応じた絵本や紙芝居の選定を行ったり、園内の職員で読み手を交代しながら実施した。	・園内の職員以外の読み手の読み聞かせを体験できるように、感染症対策として図書館司書を幼稚園に招くなど読み聞かせの方法を計画している。
			こども部	保育所	B	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、地域ボランティアによるおはなし会は実施できなかったが、職員が読み聞かせを計画的に行った。	・日々の保育における読み聞かせだけでなく、所内職員の読み聞かせイベントにおける啓発は、さらに費用対効果が高いと考えられる。今年度も実施していく。
			こども部	こども園	B	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため外部の方を招いての読み聞かせは実施しなかったが、園内で読み聞かせを行った。	・新型コロナウイルス感染症の減少状況により、地域ボランティアと連携しながら、4、5歳児へのお話会等を検討していく。
17	児童・生徒への読書の習慣化への取組	子どもの読書量の増加を図るために、朝読書や図書館の団体貸出を活用した授業に取り組み、教科書以外の本に触れる機会を設け、読書の習慣化に向けた指導を行います。	学校教育部	小学校	A	読書の時間を設けたり、計画的に図書室に向いたりして、読書量の増加に努めている。	団体貸出もしているが、回数等限られているので、さらに活用の幅を広げていきたい。
			学校教育部	中学校	B	国語の学習に合わせて様々な本に出合えるよう投げかけている。	なかなか時間が取れない現状はあるが、読書の時間を確保できるよう努めていく。
18	児童・生徒の読書に対する表彰の実施	読書感想文コンクールでの表彰や各学校の図書委員会による表彰を実施します。また、図書委員会だけではなく、学校長などが評価していく場を拡充します。	学校教育部	小学校	A	コンクールの結果は全校に紹介し、校長から表彰している。委員会主催でブックラリーを行うなどして、表彰するなどしている。	図書委員会の活動をより活性化していく。
			学校教育部	中学校	B	コンクールの結果は全校に紹介し、校長から表彰している。委員会からは本の紹介等は熱心に行っているが、表彰等の活動はできていないことが多い。	図書委員会の活動をより活性化していく。
19	図書委員会活動の活性化	図書委員会の活動を中心にビブリオバトルや読書月間の設定等、読書に対する意欲化に取り組みます。	学校教育部	小学校	A	読書月間の設定や読書イベントの開催など、積極的な活用が見られている。	今後の生徒の自主性やアイデアを大切に、より活発な活動を目指していく。
			学校教育部	中学校	A	読書月間の設定や配付物・新聞等による本の紹介など、積極的な活用が見られている。	今後の生徒の自主性やアイデアを大切に、より活発な活動を目指していく。
			学校教育部	高校	A	2期に渡って図書委員会より、借出し冊数の多い上位3名の生徒に図書カードを授与している。これを「キング オブ ザ リーダーズ賞」と称している。また、図書委員を中心に、おすすめ本を「読書コメントカード」に記入してもらい、図書館内や館報『書架』、『とよだより』で、発表している。委員会としては唯一、文化祭に参加している。日々の活動としては、当番を決めて、週に1度は、図書委員が図書館へ来るようにしている。年に1回の「図書委員による選書研修会」は、校外活動として長年継続して行ってきたがコロナ禍のため中止とし、図書委員のリクエストという形で研修をしあった。	本年度も、左記同様の活動を予定している。「図書委員による選書研修会」は、状況が許せば、すぐに再開したい。また「高校生のための本格ミステリ入門」を行い、他校の図書委員同士の交流を図りたい。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
20	学校司書の活用	学校司書を活用した授業の取組を推進していきます。	学校教育部	小学校	A	1年生の図書室利用のガイダンスをはじめ、授業への積極的な活用を依頼している。	さらに学校司書と連携できる教材や単元を模索していく。
			学校教育部	中学校	B	一部の教科や時間に限った活動になっている。	学校司書と連携できる教材や単元を増やし、活用の機会を確保していく。
			学校教育部	高校	B	国語・生物・体育などの教科では、レポート作成の課題において、書籍を紹介している。また、学校図書館ではテーマに関する蔵書が少ないため、図書館、あるいは県立図書館から貸出を受けているが、その貸出返却の業務を受け持っている。貸出数は年間769冊であった。	各教科での依頼があれば、同様の業務を行う。本年度は国語における選択授業で、絵本の読み聞かせを指導する予定である。
21	学校おはなし会の実施	地域ボランティアとの連携により、「学校おはなし会」を実施します。また、地域の人材をより一層活用した読書活動の推進を検討します。	学校教育部	小学校	B	例年地域ボランティアとの連携を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な活動ができなかった。	感染症対策を講じつつ、子どもが楽しみにしているおはなし会を改めて計画していく。
22	図書館職員によるブックトークの実施	図書館の児童担当職員が小学校を訪問し、本の紹介や図書館の利用案内を行うブックトークを行います。	生涯学習部	図書館	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	コロナ禍での小学校行事への影響に配慮しながら、実施に向けて検討していく。

基本方針 I 子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

4 図書館における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

23	児童・生徒向け図書館報の発行	毎回テーマの異なるおすすめの本の紹介などをする、対象者別の図書館報「ティーンズレター(中高生向け)」、「としょかんはらっぱ4・5・6(小学4・5・6年生向け)」、「としょかんはらっぱ(小学1・2・3年生向け)」の発行を継続します。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館では、「ティーンズレター(中高生向け)」(3回)、「としょかんはらっぱ4・5・6(小学4・5・6年生向け)」(2回)、「としょかんはらっぱ(小学1・2・3年生向け)」(2回)を発行し、来館者、市内小中高に配布した。東習志野、新習志野、谷津図書館では、合同で児童向け館報「よつばキッズ」を発行(2回)し、来館者、市内小学校3,4年生に配布した。	
24	児童・生徒向けブックリストの発行	図書館司書が小中学生にすすめる本を掲載したブックリスト「よんでみて！」を学年別に発行し、市内の全小中学生に配付します。	生涯学習部	図書館	A	市内市内中学校(14,814部)に配付した。	継続
25	「おはなし会」の開催	子どもたちに絵本や物語に親しんでもらうために、絵本の読み聞かせや紙芝居による「おはなし会」の開催増に努めます。	生涯学習部	図書館	A	各図書館(4館)で計107回開催(「えほんのじかん」を含む)し、509人の参加があった。	継続
26	児童向け講座の開催	図書館を利用するきっかけをつくるために、工作会など、本に関心のない子どもでも参加しやすい講座の開催増に努め、講座に関係した本を紹介するなど、図書館や本に関心を持ってもらいます。	生涯学習部	図書館	A	各図書館(4館)で子ども向けの講座を計11回開催し195人の参加があった。	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
27	読書手帳の配布	子どもたちが、本を読むことに達成感を感じることで、読書意欲が向上することを目指して、読んだ本を記録できる読書手帳を、市内の全小学生に配付します。	生涯学習部	図書館	A	新1年生に1,763部配付した(2年生から6年生までは前年度に配付済)。	継続
28	1日図書館員の実施	夏休みを利用して小学生に、貸出・返却・配架等の図書館業務を体験してもらうことで、図書館に親しみを持ってもらいます。	生涯学習部	図書館	A	各図書館(4館)で開催し、小学4年生から6年生まで計49人の参加があった。	継続
29	職場体験の受入れ	中学校で行われる職場体験を受け入れし、貸出・返却・配架等の図書館業務を体験してもらうことで、図書館と読書への関心を高めます。	生涯学習部	図書館	B	新型コロナウイルスの影響により生徒が職場を訪問する「職場体験」は実施されず、代わりに「職場講演会」として、職員が学校に向き講義を行った。(派遣回数3件、派遣人数5名)	学校からの職場体験の依頼に応じて対応する。
30	子ども司書の検討	学校や図書館を会場に読書や図書館に関する講義や実習などを開催し、全てのカリキュラムを終了した児童や生徒を「子ども司書」として認定する子ども司書事業の実施を検討します。	生涯学習部	図書館	B	他の図書館の実施事例に留意した。	他市の事例を参考に実施する場合の課題を整理していく。
31	障がいのある子どもの読書活動の支援	障がいのある子どもが、それぞれの興味・能力に合わせた読書活動ができるよう、録音図書、点字図書、LLブックの収集など、図書館と学校が連携して読書のバリアフリー化に努め、障がいのある子どもの読書活動の支援に努めます。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館で、児童書のLLブックやさわる絵本を収集した(令和3年度末42冊所蔵)。	収集した資料を、資料を必要とする子どもと結びつけるよう周知活動をする必要がある。
			学校教育部	小学校	C	子どもの必要感にもよるが、図書館との連携によるバリアフリー化には取り組めていない。	必要に応じて図書館に相談し、ニーズに合ったものを揃えていく。
			学校教育部	中学校	C	子どもの必要感にもよるが、図書館との連携によるバリアフリー化には取り組めていない。	必要に応じて図書館に相談し、ニーズに合ったものを揃えていく。
			学校教育部	高校	C	障がいのある生徒が在籍しなかったため、活動はなかった。	今後、障がいのある生徒が入学してきた場合は、その障がいにあった活動を、習志野市立図書館に相談しつつ、取り組んでいく。
32	移動図書館の学校への巡回	図書館から離れた地域に住んでいる子どもも図書館の本を利用できるように、近くに図書館がない小学校に移動図書館が巡回し、本の貸出しを行います。	生涯学習部	図書館	A	小学校8校に移動図書館が巡回し、本の貸出しを行った。 令和3年度巡回数:168回、貸出冊数:15,995冊	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
33	中高生の図書館事業への参加	中高生に図書館に親しみをもってもらえるよう、中高生本人からおすすめの本やイラストを投稿してもらい、中高生向けの図書コーナーに掲示・展示するなど、中高生同士や中高生と図書館のコミュニケーションの場を設けるなど、図書館活動を共に行えるよう、事業を計画し、実施します。 また、学校と連携し、様々な授業とタイアップする中で、中高生からおすすめの本についてのPOPや帯の投稿、学校と図書館の本の交換展示、図書館でのビブリオバトルの開催などを実施し、図書館を中高生にとって、より身近なものにしていきます。	生涯学習部	図書館	A	市内中学校と連携し、中央図書館のこどもとティーンズのフロアに中学生が作成した本の紹介のPOPを、一般書のフロアで生徒作成のしおりを展示した。 10代の子どもから投稿を募り、こどもとティーンズのフロア内に掲示した。	コロナ禍での学校運営に配慮しながら、学校との連携による事業実施に努める。
			学校教育部	指導課	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、学校と図書館との橋渡し役を果たせていない。	必要に応じて学校と図書館との間に入り、連携を推奨していけるようにする。
			学校教育部	中学校	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、図書館と連携が十分図れておらず、生徒にとって身近なものにできていない。	図書担当が窓口となり、図書館との連携を図っていく。
			学校教育部	高校	B	令和3年度より、近隣の公立図書館の司書に協力してもらい、図書のコメントカードを作成してもらっている。	本年度も近隣の公立図書館の司書に協力してもらい、図書のコメントカードを作成してもらうことになっている。
34	出前講座の実施	幼稚園、保育所、こども園、学校の要望に応じて、図書館司書が学校に出向き、図書館の上手な使い方を紹介する、まちづくり出前講座「図書館を使いこなそう」を開催します。	生涯学習部	図書館	C	未実施(要望なし)	要望に応じて開催。
			こども部	幼稚園	C	・新型コロナウイルス感染症対策を講じて外部の方が園内に入ることを制限したため実施していない。	・図書館司書の方に学期毎に園を訪問していただき、読み聞かせをしていただく計画をしている。
			こども部	保育所	C	・コロナウイルス感染症対策で事業を縮小した。	・コロナウイルス感染症対策で事業を縮小予定。状況に応じ検討していく。
			こども部	こども園	C	・出前講座の活用はできなかったが、近隣の図書館を話題にするなど、親子での図書館利用の向上につながるようにした。	・出前講座の実現や、図書館利用の勧めを継続的に実施する。
			学校教育部	小学校	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、図書館司書の活用は計画できていない。	図書館司書との連携で何ができるかをしっかり把握し、活用を図っていく。
			学校教育部	中学校	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、図書館司書の活用は計画できていない。	図書館司書との連携で何ができるかをしっかり把握し、活用を図っていく。
			学校教育部	高校	C	新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。	新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みながら実施する予定である。
35	学習室を活用した中高生の図書館利用の促進	新習志野図書館の学習室や2020年7月に大久保に開館する新しい図書館の学習室に、図書館の魅力を紹介する案内を掲示するなど、学習室の利用を目的に来館した中高生を図書館利用に結びつける取組を実施します。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館では、学習室の入口にパーテーションを設置し、中高生向けの中央図書館報「ティーンズレター」の掲示や、図書館で新規購入したティーンズ向けの図書のお知らせを掲示した。 新習志野図書館では、ティーンズ向けの展示の実施に併せ、学習室にポスターを掲示した。また、引き続き、学習室にティーンズコーナーの案内ポスターを掲示した。	新習志野図書館指定管理者と連携し、学習室利用者の図書館利用促進に取り組む。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	--------------------------

基本方針Ⅱ 地域や学校等における読書環境の充実

1 家庭における読書環境の充実

36	図書館利用の推奨	市広報誌や地域の施設、学校、幼稚園、保育所、こども園と連携し、「家読(うちどく)」のために、図書館の本の利用をすすめています。	生涯学習部	図書館	B	広報習志野の図書館特集で図書館の利用についてPRした。	継続
----	----------	---	-------	-----	---	-----------------------------	----

基本方針Ⅱ 地域や学校等における読書環境の充実

2 地域における読書環境の充実

37	こどもセンター・きらっ子ルームにおける読書環境の充実	図書館のリサイクル本や市民からの寄贈本等を活用して絵本のコーナーの充実を図ります。	こども部	こどもセンター	A	常に絵本の整理をし、入れ替え等を行った。	同様に実施する。
			こども部	きらっ子ルーム	A	常に絵本の整理をし、入れ替え等を行った。	同様に実施する。
38	放課後児童会における読書環境の充実	図書館のリサイクル本や市民からの寄贈本等を活用して図書コーナーの充実を図ります。	こども部	児童育成課	B	・13児童会を除く20児童会で入れ替えや購入、移動図書館を利用して環境を整えている。	半数以上の児童会で図書の入れ替えや移動図書館を活用し児童が飽きずに本を手にとることができるようにしている。令和4年度以降も引き続き実施する。
39	公民館における読書環境の充実	図書館のリサイクル本や市民からの寄贈本等を活用して図書室や図書コーナーの充実を図ります。また、子どもが利用しやすいように書架の整理に努めます。	生涯学習部	公民館	A	図書コーナー有:菊田、実花、袖ヶ浦、谷津(菊田)蔵書冊数約1300冊(実花)蔵書冊数約2000(袖ヶ浦)児童図書蔵書数約3千冊(谷津)蔵書冊数約400(新習志野)児童向け寄贈本120冊 新規購入:(菊田)8冊 書架整理:(菊田)(実花)年1回(袖ヶ浦)週1回(谷津)月1回(新習志野)	引き続き、本を新たに購入したり、定期的に書架整理を行う。
40	地域における読書施設の情報提供	市内のNPO図書館や民間施設などで行われる読書活動に関する情報を収集し、提供に努めます。	生涯学習部	図書館	C	新型コロナのため各施設が通常と異なる運営をしているため、情報収集は控えた。	新型コロナの影響を見極めながら適切な時期に情報収集と情報提供を行う。
41	団体貸出し用図書の充実	市内で活動している文庫や読み聞かせグループの円滑な活動を支援するため、利用希望が重なる行事に関する絵本等はできる限り複本で揃えます。	生涯学習部	図書館	A	児童書を4,895冊新規購入し、定評のある子どもの本他、予約の多い資料は複本で購入した。	継続
42	市民からの本の寄贈の受付	市民から子どもが読み終えた本の寄贈を募り、リサイクル本を希望する施設等に配布します。	生涯学習部	図書館	A	施設へは特に要望のあった場合のみ、市民からの寄贈及び図書館で不用になった資料を配布した。(1施設。684冊)	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	--------------------------

基本方針Ⅱ 地域や学校等における読書環境の充実

3 学校・園における読書環境の充実

43	保育所・幼稚園・こども園における読書環境の充実	計画的な図書の購入や保護者からの寄贈を募り、絵本のコーナーや絵本の部屋の充実を図ります。	こども部	幼稚園	A	・計画的に絵本を購入し、子どもの発達や実態に応じた絵本の種類や絵本の部屋の環境を整えることができた。 ・執行率100%	・今年度のこどもの実態に応じて購入する絵本を精選したり、室内環境を整えていく。 ・保護者からの寄贈を募り、よい絵本環境を整えていく事を検討していく。
			こども部	保育所	A	・図書購入費が予算に組み立てられており、執行率100パーセントである。保護者会からも寄贈されたことがある。	・図書購入費については100パーセント執行を実施する。
			こども部	こども園	A	・一人あたり360円の予算で絵本を購入をし、新作絵本や昔話などの紹介をした。また、季節に応じた絵本の選定を実施し、絵本コーナーの充実を図った。執行額100%	・今年度も、子どもの発達に合わせた絵本の選定をし、計画的に絵本の購入を実施する予定。
44	子どもが絵本に触れる機会増加への取組	幼稚園・保育所・こども園等、施設での絵本の貸し出しや、保育の中で図書館を利用するなど、子どもが絵本に触れる機会を増やします。	こども部	幼稚園	A	・新型コロナウイルス感染症対策を講じて、図書館利用は実施しなかったが、保育の中で絵本に親しむ機会を実施した。 毎月お話会として、園長や教頭が読み聞かせを行った。 ・毎月絵本の日として絵本の貸出を行った。 ・職員が絵本の読み聞かせをし、子供の興味関心を深めるきっかけ作りに努めた。	・子どもが絵本にふれる機会を増やせるよう図書館利用や園内での絵本にふれる機会の工夫を検討していく。 保育の中で、図書館に行き、多くの絵本に触れる機会や借りる機会を作る。
			こども部	保育所	B	・施設での貸し出しや図書館利用は実施していない。身近に絵本に触れられるように施設内でコーナーを設けた。	・近隣の図書館が閉鎖のため、直接利用はできないが、ボランティアの方のお話会は再開となった。
			こども部	こども園	B	・絵本の貸し出しは実施していないが、各クラスに季節や育ちに合った絵本を常備したり、園内の絵本コーナーに子どもたちが絵本を探しにくることが日常的にできるよう配慮した。	・時期や活動にふさわしい絵本を表紙が見えるように展示することで、子どもたちが自ら関心をもって手に取ることができるよう展示方法を改善している。
45	学校図書館の資料の充実	学校図書館図書標準の維持を図りつつ、出版から古くなった本の買い替えを計画的にすすめ、「読書センター」としての機能だけでなく「学習情報センター」としての機能の強化を図ります。	学校教育部	教育総務課	A	学校図書館図書標準に定められた蔵書冊数を維持するため、経常予算以外に臨時予算を確保し、小・中学校に図書購入費を予算配当した。	今後も、学校図書館図書標準に定められた蔵書冊数を維持するために必要な図書購入費を小・中学校に配当できるよう予算確保に努めていく。
			学校教育部	小学校	A	標準図書冊数は維持しつつ、本の入れ替えを定期的に行っている。本の種類も考慮し、学習センターとなるよう心掛けている。	今後も図書担当と学校司書で連携を図り、充実を図っていく。
			学校教育部	中学校	A	標準図書冊数は維持しつつ、本の入れ替えを定期的に行っている。本の種類も考慮し、学習センターとなるよう心掛けている。	今後も図書担当と学校司書で連携を図り、充実を図っていく。
			学校教育部	高校	A	シリーズものの紛失した本の補充をしている。文学系の図書を中心にいった。 寄付本の提供を58冊受け入れた。DVDの寄付があり1冊受け入れた。 なお、廃棄は507冊行った。	本年度は、シリーズ本の補充は、英語科を中心に行う予定である。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
46	学級文庫の充実	図書館の団体貸出しや朝の読書用図書セットを活用するなど、学校と図書館が連携し、学級文庫の充実や新鮮さを保つよう努めます。	生涯学習部	図書館	A	学校からの朝の読書用図書セットの貸出しや団体貸出しの依頼に対応した。	継続
			学校教育部	小学校	B	学級文庫の充実には務めているが、図書館との連携を進めていくことはできていない。	図書館との連携により、新鮮さを大切にしていく。
47	学校図書館のICT化の検討	学校図書館の情報ステーションとしての機能向上を図るため、インターネット環境の整備や蔵書の検索機、インターネットを検索できる情報端末の設置等を検討します。	学校教育部	総合教育センター	B	指導課において、図書の蔵書管理、貸出管理を行うための端末をリースにて配置している。 校内ネットワーク整備において、図書室でも活用できるように、無線LANアクセスポイントを配置している。1人1台タブレット端末でインターネット環境が使用できるように整備している。	図書館の蔵書管理システムがパソコン内に完結しているため、1人1台タブレット端末からの検索等は行えないため、インターネット環境と並行した調べ学習への活用が行いにくい面がある。図書システムを構築する際には引き続き検討する。
			学校教育部	小学校	C	貸出のみで、児童生徒が活用できる体制になっていない。	指導課と連携し、計画をしていく。
			学校教育部	中学校	C	貸出のみで、児童生徒が活用できる体制になっていない。	指導課と連携し、計画をしていく。
			学校教育部	高校	B	学校図書館内のネットが修復され、蔵書のPCによる検索が可能になった。	PC機種が変わったが、蔵書検索ができています。また、学校公式ホームページ上で図書館に関する情報を随時更新していく。
48	学校図書館の効果的な運用	授業において学校図書館を効果的に活用するために、各教科のカリキュラムに沿った学校図書館全体計画を作成します。 また、学校図書館を利用し、本などから情報を得て活用する言語活動を様々な授業で推進していきます。	学校教育部	小学校	A	年度初めに図書館の利用計画を作成し、年間を通して計画的に取り組んでいる。国語の授業を中心に、言語活動に取り組んでいる。	今後も年間計画をしっかり立て、計画的な実践を心掛けていく。
			学校教育部	中学校	A	年度初めに図書館の利用計画を作成し、年間を通して計画的に取り組んでいる。国語の授業を中心に、言語活動に取り組んでいる。	今後も年間計画をしっかり立て、計画的な実践を心掛けていく。
			学校教育部	高校	B	国語研究の授業においては、学校図書館閲覧室利用と課題レポート制作時のテーマに沿った図書の借出しについて、年度初めに申し出があった。また、家庭科授業においてはDVD使用のため1学期中の閲覧室予約が計画された。この計画に基づいて、団体貸出を行った。 団体貸出制度を利用して116冊の貸出を受けた。	本年度も同様に、全体計画に沿って、団体貸出制度を利用して「心に響く一文」「行ってみたい卒業旅行」「絵本」等、各授業で十分な数の図書を揃えたい。
49	障がいのある子どもの読書の支援	障がいのある子どもが読書に親しめるよう、一人ひとりに合わせた図書教材を工夫します。	学校教育部	小学校	A	選書の際に様々な子どものニーズに合わせた本を考慮し、一人ひとりにあった本が読めるよう心掛けている。	今後も幅広い選書を心掛けていく。
			学校教育部	中学校	A	選書の際に様々な子どものニーズに合わせた本を考慮し、一人ひとりにあった本が読めるよう心掛けている。	今後も幅広い選書を心掛けていく。
			学校教育部	高校	C	障がいのある生徒が在籍しなかったため、支援活動はなかった。	今後、障がいのある生徒が入学してきた場合は、その障がいにあった活動を、習志野市立図書館に相談しつつ、取り組んでいく。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
50	読書活動に関する研修会への参加	教職員や保育士を読書指導や読み聞かせの研修会に参加させ、子どもの読書活動への理解促進と知識、技術の向上に努めます。	学校教育部	小学校	B	市の悉皆研修には参加させているが、技術の向上などのためにはさらに積極的に参加する必要がある。	研修会に参加しやすい環境を整備し、積極的な参加を促していく。
			学校教育部	中学校	B	市の悉皆研修には参加させているが、技術の向上などのためにはさらに積極的に参加する必要がある。	研修会に参加しやすい環境を整備し、積極的な参加を促していく。
			学校教育部	高校	A	研修会等へ参加するというものではないが、文化祭において「絵本の選び方と、読み聞かせ」の指導をお願いし図書館司書に来館いただいた。これは、将来教育現場や、介護現場で働きたい生徒に向けたものであったが、図書館関係職員・他の教員も勉強させていただき、ためになった。	本年度も、何らかの形で図書館司書に来ていただくつもりである。
			こども部	幼稚園	A	・園内研修で職員同士が子どもの年齢や発達に応じた絵本を推薦しあったり、協議し選定しあったりする場を設けた。 ・園内研修や保育実践研修等で、教職員の読み聞かせ指導や選定等について指導助言をもらう機会を実施した。	・新たな職員間で、絵本の精選をしたり、推薦したり、読み聞かせの方法などを学び合う場を設けていく。 ・保育実践により活かせる研修会内容を充実させることを検討していく。
			こども部	保育所	A	・日々の保育の中で、各自自己研鑽に努めた。	・日々の保育の中で、実践しながら自己研鑽に努めるように意識していく。
			こども部	こども園	A	・研修会や実践保育の中で、子どもの発達や興味に合った読書活動の知識や技術を学ぶ機会をもてた職員もいた。	・子どもの読書活動への知識や技術の活かせる研修会内容を検討していく。
51	学校司書の配置	学校図書館の環境を整備し、利用促進を図るため、学校司書の計画的な拡充について検討し、司書教諭・図書主任教師や学校図書館ボランティアと連携しながら、学校図書館を利用し、本などから情報を得て活用する言語活動や教科書関連図書の収集、子どもが本を手にとりやすいような展示の工夫、本の紹介等を行います。	学校教育部	指導課	A	学校司書の拡充は毎年要望している。ただ人を増やすだけでなく、より効果的な人材活用を進めていけるよう研修等を進めている。	今後も拡充を目指すとともに、より効果的な活用を図っていく、
52	団体貸出しの実施	各施設の読み聞かせや学校の調べ学習などを支援するため、団体貸出しを行います。	生涯学習部	図書館	A	学校のクラス等に団体貸出しで3,176冊貸出した。	継続。
53	朝の読書用図書セットの貸出し	小中学校の朝読書を支援するため、図書館司書が選定した本のセットを貸出します。	生涯学習部	図書館	A	朝の読書用図書セットの貸出しを行った(2学校、2件21セット)。	引き続き学校の要望に対応していく。
54	小中学校への図書館検索システム設置の検討	学校図書館で市立図書館の蔵書の検索ができるよう、検索システムの設置を検討します。	学校教育部	指導課	C	システムの構築について具体的な計画はできていない。	図書室用PCのリース契約の更新があるので、検索システムの設置も視野に入れて検討していく。
			生涯学習部	図書館	C	新型コロナへの対応のため検討まで至らなかった。	子どもにインターネットに接続できる端末が配付されたことにより、事業の必要性を再検討する。
			学校教育部	小学校	C	システムの構築ができていない。	指導課と連携し、計画をしていく。
			学校教育部	中学校	C	システムの構築ができていない。	指導課と連携し、計画をしていく。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	------------------------------

基本方針Ⅱ 地域や学校等における読書環境の充実

4 図書館における読書環境の充実

55	子どもの本の充実	子どもが常に優れた本に囲まれた環境を提供できるよう、図書館の児童サービスの専門知識を有する職員が選書を行い、質の充実に努めます。	生涯学習部	図書館	A	児童サービスの経験豊富な職員を中心に選書を行い、司書資格を持つ職員による会議で選書を決定し、質の充実に努めている。	継続
56	子ども向けサービスの充実	子どもが絵本や図書館に親しみきっかけとなるよう、おはなし会や児童向け講座等の開催増に努めます。	生涯学習部	図書館	B	新型コロナウイルスにより開催中止の時期もあったが、各図書館(4館)で計107回開催(「えほんのじかん」を含む)し、509人の参加があった。	感染対策を実施しながら開催していく。
57	展示コーナーの充実	子どもが数多くの蔵書の中から優れた本と出会うきっかけを作るため、図書館司書が選んだ本を展示するコーナーの充実に努めます。	生涯学習部	図書館	A	各図書館で、図書館がすすめる本の展示や季節やテーマに併せて本の展示を行った。	継続
58	子ども向け郷土資料コーナーの充実	子どもたちが自分たちの住んでいる地域について関心を持ち、調べることができるよう、子ども向けの郷土資料の充実に努めます。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館では習志野市に関する新聞記事の切り抜き集を作成し、記事の見出しをホームページで公開している。市と図書館指定管理者が連携し、習志野市の古写真等のデジタルアーカイブを公開している。	継続
59	子ども向けホームページの充実	子どもが楽しみながら本を検索できたり、保護者が子ども向けのおすすめの本を検索しやすくなるよう、子ども向けホームページの充実に努めます。	生涯学習部	図書館	A	ホームページに子ども用の資料検索画面を設けている。図書館職員が選んだ子どものすすめる本は、リストをホームページに掲載し、予約できるようにしている。	継続
60	SNSの活用の検討	中高生の読書や図書館への関心を高めるため、本や図書館の魅力、情報を発信する手段として、ツイッター、フェイスブック、ブログなどのSNSの活用を検討します。	生涯学習部	図書館	A	指定管理者の管理する図書館(3館)ではブログやツイッターによる情報発信を行っている。	市では担当課ごとではなく、全庁的に一つのツイッターで情報発信している。
61	日本語を母国語としない子どもへの支援	日本語を母国語としない子どもでも読書を楽しめるように、より様々な外国語で書かれた子どもの本や日本語を学ぶための本を収集します。また、国際交流協会と連携しながら、効果的な図書の提供方法等について研究します。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館に多文化コーナーを設け、外国語図書を収集した。(児童向け外国語図書1,149冊)	外国語で書かれた子どもの本を収集していく。 継続
62	電子図書館の導入の検討	学習環境のデジタル化の進展に合わせ、電子図書館の導入を検討します。	生涯学習部	図書館	C	実施に向けた準備にとどまった。	実施に向けて事業化に取り組む。
63	図書館職員の研修会参加	図書館職員の資質向上のため、千葉県や千葉県公共図書館協会等の主催するスキルアップ研修会等に積極的に参加します。	生涯学習部	図書館	A	千葉県や千葉県公共図書館協会等の主催する研修会(zoom含む)に参加した(8回8人)。指定管理館のスタッフは自社主催の研修にも参加した。	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	--------------------------

基本方針Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及

2 学校・園における子どもの読書活動への理解や関心の普及

68	読書指導の充実	授業やカリキュラムの中で、子どもが自主的、自発的に読書を行えるようになるよう、子どもの成長に合わせた読書指導を行います。	学校教育部	小学校	A	教科の内容に合わせた並行読書の取り組みなど、読書への積極的な取り組みを進めている。	今後も引き続き活用を図っていく。
			学校教育部	中学校	B	教科の内容に合わせた読書への取り組みを投げかけたりしている。	今後も引き続き活用を図っていく。
			学校教育部	高校	B	国語研究の授業においては、学校図書館閲覧室利用と課題レポート製作時のテーマに沿った図書の借出しについて、年度初めに申し出があった。また、家庭科授業においてはDVD使用のため1学期中の閲覧室予約が計画された。入学時の研修として、「図書館オリエンテーション」を実施している。	本年度も「図書館オリエンテーション」を実施した。生徒の質問などの時を利用して、随時学校図書館内の本の並び方や、「日本分類十進法」などを説明している。
			こども部	幼稚園	A	・子どもの発達や学級の実態に応じた絵本の読み聞かせ方や絵本選定を実施し、指導計画に基づく指導を実施した。	・子どもの発達や実態によって読み聞かせに関する指導計画の見直しを実施していく。
			こども部	保育所	A	・季節や行事を伝える絵本や、その時期の子供の発達に見合った絵本の読み聞かせを保育に取り入れている。	・保育のカリキュラムの中に絵本について見直ししていく。
			こども部	こども園	A	・各クラスで子どもの発達や興味に合った絵本の読み聞かせを日々実施し、「絵本が好き」「楽しい」という気持ちを育てていくようにした。 ・誕生会や季節ごとの行事の中で、絵本を使って由来や意味を知らせたり、関心のあることを調べたりすることに活用した。	・絵本の読み聞かせや絵本に触れる機会を計画的に設定し、子どもの興味・関心に合わせた関わりを行っていく。
69	学校だより、園だよりを活用した啓発	学校だよりや園だより等で、保護者に子育てや教育における読書の大切さや、おすすめの本等を紹介しませす。	学校教育部	小学校	B	取り組んでいる学校もあるが、一部にとどまっている。	学校の月目標等とリンクさせるなどして、学校だよりの積極的な活用を進めていく。
			学校教育部	中学校	B	取り組んでいる学校もあるが、一部にとどまっている。	学校の月目標等とリンクさせるなどして、学校だよりの積極的な活用を進めていく。
			学校教育部	高校	A	学校図書館 館報『書架』や、『としょだより』において、図書館の状況や新着図書や頻度の高い貸出本がどんなものかなどの情報を掲載している。	学校図書館の新着本、館内での利用頻度の多い本など、頻度を高めて個々に配布を計画している。 本年度は、学校公式ホームページの連載企画「本にまつわる、先輩からのメッセージ」には、身近な人々の読書経験話が載っているの で、興味を持ってくれるのではないかと期待している。「先輩のよく読んだ本やおすすめ本」、「図書委員や教職員のおすすめの本」「新着図書」がタイムリーに見られるよう、ホームページの更新に努力する。また近隣の公立図書館の司書に協力してもらい、本のコメントカードを作成してもらっている。
			こども部	幼稚園	A	・園だよりやクラスだより、写真掲示等で読み聞かせの様子を掲載し、絵本に親しむ大切さを啓発した。 ・年齢でおすすめの本を紹介した。	・読み聞かせを聞いている子どもの様子(反応や表情など)をとおして、保護者が絵本の読み聞かせの大切さが理解できるような発信の工夫をしていく。 ・1ページづつ、子供のタイミングでページをめくったり、戻ったりできる絵本の良さも発信していく。
			こども部	保育所	A	いつでも本を手にとって読むことができるように、保育室や図書コーナーに季節や興味の合った図書を設定していた。	年齢に合わせた図書を精選し、取り出しやすい方法で設定し、興味をもてるようにする。
			こども部	こども園	A	・園だよりにより季節のおすすめ絵本として、昔話や季節の絵本等の紹介をした。	・今後も定期的に絵本の紹介をしていく予定である。 ・ホームページを利用した読み聞かせの大切さや絵本紹介など発信方法の工夫をしていく。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	--------------------------

基本方針Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及

3 図書館における子どもの読書活動への理解や関心の普及

70	広報や図書館報を活用した啓発	市の広報誌や図書館報等で、子どもの読書活動の大切さについての理解や図書館利用について紹介します。	生涯学習部	図書館	A	ならしの子育てハンドブックに図書館の利用について掲載した。広報習志野の図書館特集で利用についてPRを行った。	継続
71	利用案内の配布・活用	子どもを持つ保護者が利用する窓口や施設等、図書館以外の場所に、図書館の利用案内や読み聞かせのブックリストを配置し、図書館を利用していない方へ周知します。	生涯学習部	図書館	A	図書館が所蔵している「発達障がい」に関するブックリストを作成し、子育て支援課やひまわり発達相談センターに配付した。	
72	小学1年生入学時の利用登録	移動図書館の巡回先の小学校で行っている1年生入学時における図書館利用登録の全小学校での実施について、検討します。	生涯学習部	図書館	A	移動図書館が巡回していない8校の新1年生を対象に実施し、311人の登録があった。	継続
73	講演会や講座の開催	子どもの読書や児童文学に関する講演会や講座を開催して、子どもの読書活動の意義等についての啓発に努めます。	生涯学習部	図書館	A	中央図書館で児童文学講演会を1回開催し、29人の参加があった。	継続
74	「子ども読書の日」の普及	「子ども読書の日」(4月23日)の普及のために、「子ども読書の日」を冠した事業や、展示等を行います。	生涯学習部	図書館	A	各図書館で、おはなし会や展示を行った。 参加者:3人	継続

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	--------------------------

基本方針Ⅳ 読書活動の推進体制の整備

1 子どもの読書活動推進体制の整備

75	子どもの読書活動推進体制の整備	各事業の進捗状況や実績等の進行管理と評価、また、本計画の目標値の達成度や効果の検証を行い、各事業の効果的な推進に取り組みます。 関係機関の連携強化と継続的な情報交換、連絡調整を行います。 また、地域住民やNPO、ボランティア、事業者等と連携した事業の推進に取り組みます。	こども部	こども保育課	B	・新型コロナウイルスの感染症対策を各施設で講じながらも、実施できることを検討して取り組んできた。地域ボランティアとの連携が難しかったため、職員が読み聞かせしたり年齢に応じた絵本の紹介を保護者に行ったりするなどの工夫を図った。	・引き続き、新型コロナウイルスの感染症対策を各施設で講じながらも絵本等に興味や関心がよりもてるような環境を整えていく。読み聞かせの利点や必要性等を保護者への啓発も継続していく。
			こども部	子育て支援課	A	各施設が集まっての会議や、日常的な連絡調整を行うことで、各事業の効果的な推進に取り組んだ。	同様に実施する。
			学校教育部	指導課	B	新型コロナウイルス感染拡大により実施できない点も多々あったが、可能な範囲で効果的に推進を図ることができた。	感染症対策は考慮しつつ、関係機関の連携強化等に努めていく。
			生涯学習部	公民館	A	関係機関との連携した事業を以下のとおり実施 (中央)育児講座 1回親子10組 中央図書館司書による絵本読み聞かせ (菊田)幼児家庭教育学級 1回親子7組、親と子のふれあい講座 1回親子10組、きくたこどもフェスタ 25名 (実花)育児講座、幼児家庭教育学級、子育てライフアップ等の預かり保育で読み聞かせ等実施 (袖ヶ浦)育児講座 1回6名 読み聞かせ団体「ぐりぐら」による読み聞かせ (谷津)夏休みこどもおはなし会と映画会 谷津公民館司書による読み聞かせと夏休みにお勧めの本紹介1回28名 ちびっこクリスマス会で「おはなしポケット」によるおはなし会実施 184名 (新習志野)子ども講座「お話の中のお菓子の世界にひたろう」新習志野図書館と共催 8名	引き続き、図書館や地域ボランティアなどと連携して読書活動の推進に努める。
			生涯学習部	図書館	B	継続事業については予定どおり実施できた。	新型コロナウイルスの感染対策を行いながら事業の実施に取り組んでいく。
			健康福祉部	障がい福祉課	A	令和2年度同様、第4期障がい者基本計画に基づき、文字情報の音声化や点字化、カラーユニバーサルデザインの推進に取り組んでおり、広報習志野において、声の広報、点字広報を実施しています。 読書バリアフリー法に係るリーフレットを窓口に設置し案内をしています。	令和4年度は、昨年度に引き続き読書バリアフリー法に係るリーフレットを窓口に設置し案内をしています。 今後も文字情報の音声化や点字化、カラーユニバーサルデザインについて取り組むとともに、昨年度に引き続き読書バリアフリー法に係るリーフレットを窓口に設置し、周知、案内を行ってまいります。

【実施状況】A:実施予定事項が概ねできた、B:実施予定事項が一部できた、C:実施予定事項が全くできなかった

事業番号	事業名	内容	担当部	担当	令和3年度実施状況	[実施状況の説明] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
------	-----	----	-----	----	-----------	---	--------------------------

基本方針Ⅳ 読書活動の推進体制の整備

2 子どもの読書に係る人材の育成

76	子どもの読書に係る人材の育成	図書館司書や教職員、保育士等、子どもと子どもの読書活動に係る人は、それぞれの立場で研修等に積極的に参加し、資質の向上に努めます。また、図書館では市民の読み聞かせボランティア等の養成に取り組めます。	生涯学習部	図書館	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のためおはなし会を中止した時期があったため、ボランティア活動も休止した期間があった。(おはなし会ボランティア登録人数5人)	
			学校教育部	小学校	A	学校司書や担当の職員が市の研修等に積極的に参加し、資質向上に努めている。	今後も研修の機会をしっかりと生かしていく。
			学校教育部	中学校	A	学校司書や担当の職員が市の研修等に積極的に参加し、資質向上に努めている。	今後も研修の機会をしっかりと生かしていく。
			学校教育部	高校	C	コロナ禍のため、参加を見合わせた。	県図書館部会においては、今年度も中止が決定している。オンライン会議に対応するため、習志野市主催の「ZOOM」に関する研修会に参加した。
			こども部	幼稚園	A	・新型コロナウイルス感染症対策を講じて、研修に参加することは難しかったが、メディアやSNSなどとおして各自学ぶことができた。 ・園内研修や保育実践研修等で、教職員の読み聞かせ指導や選定等について指導助言をもらう機会を実施した。	・図書館司書訪問時や、園内研修等で、職員の読み聞かせ指導や選定等について指導助言をいただくなど研修内容を充実させていく。
			こども部	保育所	A	・コロナ禍でもあり、研修に参加することは難しかった。施設内で絵本が子どもの実態に即しているか見直した。	・コロナ禍でもあり、研修参加が難しいため、保育者が自己研鑽をし子どもの発達に応じた絵本の選定をしていく。
			こども部	こども園	A	・指導計画に基づき、子どもの発達や学級の実態に応じた絵本の読み聞かせ方や絵本選定を実施した。	・子どもの発達や実態によって読み聞かせに関する指導計画の見直しをしていく。
			こども部	きらっ子ルーム	A	子育て支援コンシェルジュ認定講座や、課内の打ち合わせに参加して情報共有を図ることで、資質の向上に努めた。	同様に実施する。
			こども部	こどもセンター	A	子育て支援コンシェルジュ認定講座や、課内の打ち合わせに参加して情報共有を図ることで、資質の向上に努めた。	同様に実施する。

基本方針Ⅳ 読書活動の推進体制の整備

3 資料物流システムの整備

77	施設間の図書資料流通システムの整備の検討	幼稚園、保育所、こども園、学校、公民館、図書館等の各施設が所蔵する図書資料を相互に有効活用できるよう、施設間の図書資料流通システムの整備を検討します。	生涯学習部	図書館	C	他市の実施状況に留意した。	実施に向けて課題等を整理していく。
----	----------------------	---	-------	-----	---	---------------	-------------------